

活動報告

平成23年度 厚生連放射線技師会学術活動

糸魚川総合病院、放射線科；診療放射線技師

わかばやし ふじあき
若林富士昭

厚生連放射線技師会が平成23年度に行った学術活動は、例年通り各種研修会の企画運営と全国的な学会への参加でした。各種研修会としては春季・秋季の年2回行われる「厚生連放射線技師会研修会」、前期・後期計2回の「新採用・3年未満技師合同教育研修会」、年1回の「技師長・主任研修会」を行いました。又、昨年度より開始した放射線治療研修会は厚生連技師会による直轄の組織・運営とはしませんでした。各施設より選出された放射線治療委員が中心となり9月10日に上越総合病院と長岡中央総合病院の2会場で実習を含め研修会を行いました。

今年度は3月に起こった東日本大震災の影響で、春先の各種研修会が軒並み中止となりましたが、各方面からの理解と協力により春の厚生連放射線技師会を開催する事が出来ました事を心より感謝いたします。

全国的な学会参加につきましては例年通りの参加規模でしたが、最近若手を中心に研究発表での学会参加が数人あり、厚生連技師会のレベルの向上を実感する所です。反面、学会離れはなかなか解消しておらず、今後の方向性を含めた何らかの解決策が必要と思われます。

以下、平成23年度各研修会の活動内容を示します。

【第114回厚生連放射線技師会春季研修会】

時 平成23年5月28日（土）
所 長岡中央総合病院 講堂

内容 会員30年表彰、研究発表表彰、新入会紹介（6名）

特別講演 1

「地域医療連携の現状と“C@RNA Connect”の運用」

講師 富士フィルム株式会社 ヘルスケア事業統括本部

メディカルシステム事業部 部長 船橋 毅 先生

特別講演 2

「腫瘍核医学検査における画像再構成の変遷—骨 Ga（コツガリ）の逆襲—」

講師 日本メジフィジックス株式会社

東京画像情報センター 柳沢 正道 先生

パネルディスカッション

「厚生連における核医学検査の実際」

司会 糸魚川総合病院 今井 強

パネリスト

- | | |
|------------|-------|
| 1 村上総合病院 | 佐久美正樹 |
| 2 長岡中央総合病院 | 石沢 祐子 |
| 3 刈羽郡総合病院 | 佐藤 朋子 |
| 4 糸魚川総合病院 | 小竹 伸尚 |

【要旨】

特別講演1「地域医療連携の現状と“C@RNA Connect”の運用」は、従来よりの施設完結型の医療から地域完結型へ移行する為の地域ITインフラ整備について述べたものである。日本での画像検査数の急増と診断医不足・医療連携と診療報酬の後押しの必要性・地域医療連携を実現する為のシステム作りについての内容であった。

今回の研修会のテーマは骨・Gaを中心とした核医学検査である。初めに日本メジフィジックスの講師より「腫瘍核医学検査における画像再構成の変遷—骨 Ga（コツガリ）の逆襲—」と題し講演して頂き、その後4施設より骨・Gaシンチについて特にSPECT使用での検討結果を報告してもらった。撮像時間延長等の問題点もあったが、CTとのフュージョンも含めSPECT追加の意義は大きいと思われた。

総会・学会参加報告・諸連絡

【第115回厚生連放射線技師会秋季研修会】

時 平成23年11月12日（土）
 所 長岡中央総合病院 講堂

内容 特別講演 1

「3.0T MRI の実際」

講師 長岡中央総合病院 放射線科 山本 哲史 先生

特別講演 2

「震災後の放射線測定器のニーズとその運用方法について」

講師 日立アロカメディカル株式会社 葎田 卓 先生

会員報告

「新潟厚生連における上部消化管撮影の標準化推進への
 取り組み（お願い）～胃がん検診の現状をふまえて～」

長岡中央総合病院 松本隆之介

会員研究発表 5題

総会・学会参加報告・諸連絡

【平成23年度新採用・3年未満技師前期合同研修会】

時 平成23年7月9日（土）
 所 長岡中央総合病院 検診センター講堂

対象者 新採用 岡田 竜也（糸魚川）、五十嵐翔太（新潟）、市村 温香（村上）
 3年未満 保坂 昌伸（糸魚川）、陸 真利子・笠原 良平（上越）、田村 俊（長岡）
 岩田 直也（佐渡）

内容 テーマ「安全管理」

- | | |
|---------------------------------|-------|
| ① 放射線被曝・安全管理について | 今井 強 |
| ② 一般撮影におけるリスクマネジメント | 丸山小百合 |
| ③ CTの安全管理（造影剤を中心に） | 八藤後拓哉 |
| ④ MRIの安全管理（3T MRIを中心に） | 佐藤 誠 |
| ⑤ 放射線科におけるインシデント・
アクシデントを考える | 五十嵐一美 |

【平成23年度新採用・3年未満技師後期合同研修会】

時 平成23年11月26日（土）
 所 長岡中央総合病院 検診センター講堂

対象者 新採用 岡田 竜也（糸魚川）、五十嵐翔太（新潟）、市村 温香（村上）
 3年未満 保坂 昌伸（糸魚川）、笠原 良平（上越）、田村 俊（長岡）
 陸 真利子（村上）、岩田 直也（佐渡）

内容 ① 教育講演

「血管内治療におけるデバイスについて」 講師 St.Jude.Medical

② 3年未満技師5名プレゼンテーション テーマ フリー

【平成22年度技師長・主任研修会】(23年度は24年2月開催予定)

時 平成23年2月26日(土)

所 長岡中央総合病院 中央検診センター会議室(2階)

内容 DVD鑑賞

「部下とのコミュニケーションの取り方の参考DVD紹介」

「プロジェクト実行のための参考DVD紹介」

会員報告

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| ① 「放射線治療施設の定期検査を受けて」 | 長岡中央 藤沢 正一
刈羽郡 板橋 芳人 |
| ② 「水原郷病院の運営委譲を経験して」 | 水原郷 白井 康博 |
| ③ 「新潟医療センターの近況」 | 新潟医療 坂上富司男 |

【要旨】

午前の部はDVD鑑賞による研修をおこなった。内容は「大人になってからもう一度受けたいコミュニケーションの授業」「気くばりのツボ」「五つ星のお付き合い」「成功の9ステップ」であったが、リーダーという立場において部下や他部署と良い関係を作る上で多くのヒントが読み取れる印象のものであった。

午後の部①は放射線治療施設に義務付けられている5年に1度の定期検査の詳細な解説である。放射線治療装置は他の放射線機器に比べ法律上かなり厳しく管理する様定められているが、この定期検査を準備段階から当日の流れを80枚のスライドを使い丁寧に説明していた。②③は厚生連に運営委譲された各病院の問題点についての説明であったが、これから医療改変の予想される厚生連にとって同じような事が繰り返されると予想される。

【平成23年度学会等派遣】

日本放射線技術学会	第67回総会・学術大会(横浜)	震災の為中止
日本放射線技術学会	第39回秋季学術大会(神戸)	2名
日本放射線技術学会	第1回東北放射線医療技術学術大会(盛岡)	1名
日本放射線技師会	第27回総合学術大会(青森)	2名
日本放射線技師会	関東甲信越学術大会(山梨)	2名

(2011/11/10受付)